

車両の品質低下を招く外注化に反対

同意を得ない強制出向を許さない！ 郡工支部が抗議集会

車両センター前での抗議集会



9月17日、国労郡山工場支部（橋本守弘委員長）は、10月1日に実施されようとしている総合車両センターの外注化施策に伴う本人同意を得ない出向発令に抗議する集会を開催した。

9月16日、郡山総合車両センターにおける10月1日外注化実施に伴う、出向の事前通知発令が行われた。これに対し郡工支部は9月17日の昼休み、車両センター正門向かい側において、「外注化阻止！ 強制出向を許さない郡工支部集会」を開催した。あいさつに立つ



国労せんだい

No. 2683
2014年9月30日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌仙

た橋本守弘委員長は「今回の外注化で、エルダーのための業務委託ではなく、コスト削減のための委託であることがハッキリした」と施策の本質を述べた。

続いて郡工支部橋本書記長から今回の外注化の問題点と今後の取組みについての提起がされた。

事前通知を発令された当該を代表し藤崎氏からは「この間の面談では、安全を脅かす外注化は反対である」と主張してきた。職場をなくされることにあらためて抗議する」との決意が述べられた。

また車体科分会からは「車両の品質を低下させる外注化は反対だ。短期間の教育では技術は身につかない」、続いて装置科分会からは「若者の職場を奪う施策であり許されない」、さらに貨物からは「強制出向を許さない闘いを共にやっていく」とそれぞれ決意が述べられ、最後に橋本委員長の前頭で団結頭張ろうを突き上げ集会を終えた。

※郡工支部は、9月25日郡山ビックアイで支部集会（外注化と強制出向に反対しJRの安全を守る郡工支部集会）を開催。この間の経過と今後の取り組みについて議論し意思統一を図った。

- 7・11 第11回執行委員会・支部代表者会議
- 7・31 第83回定期全国大会
- 8・4 第12回執行委員会
- 8・7 第28回東日本本部大会
- 8・9 地本会計監査
- 8・19 地本調査部長会議
- 8・23 第42回安プロ・第33回業長会議

貨物ロジに申し入れ

8月21日、国労東北協議会（佐藤浩一議長）秋田地本）は、JR貨物東北ロジステイクスに対し、8月1日に国労に加入した松浦光博氏（同社秋田支店秋田事業所嘱託社員）の労使関係の存在確認と交渉窓口の取扱い、また団体交渉の開催などを求めて交渉を行った。

申し入れ交渉に参加したのは、組合側として東北協議会佐藤議長、同原子幹事、同後藤幹事、また貨物東北協議会大越議長、同木元事務長の5人。

会社側の出席者は中嶋社長、阿部総務部長、取締役成田関連部長、取締役本郷自動車部長の4人。

- 8・23 第54回地本アスベスト対策会議
- 8・24 国労東北協議会拡大幹事会
- 8・26 第13回地本執行委員会
- 8・28 国労フクシマ交流会
- 9・6 地本組織部長会議
- 9・16 第14回執行委員会・支部代表者会議
- 9・23 さよなら原発全国大集会

受診の判断は本人が

アスベスト対策委員会が回答

地本アスベスト対策委員会は、過去に組合員から質問があった内容に対し以下の内容を回答しています。

※参考にして下さい。

質問の内容は、

- ①CTとレントゲンの被ばく線量はどの程度か。
- ②健康管理手帳取得後の年2回の検査は、1回はCT、もう1回はレントゲンである。

組合側の申し入れの主旨は、

- ①国労との交渉窓口を設けること（交渉窓口は東北協議会とすること）、
- ②松浦光博氏を正社員として雇用することの2点。

これに対し会社側の返答は、①労組法での対応となる②就業規則で対応するとの回答がされた。

東北協議会の役員は「今後、労組法から労使関係に関する協約締結に結びつけた」としている。

病院と東北労災病院が指定されていて、東北労働局によれば、どちらも変更することは可能です。また県をまたいでも大丈夫です。被ばく線量については、高い・低いが問題になりませんが、これについては個々の判断になります。通常に生活をしていれば、自然界や食物その他から年間平均2mSvの被ばくがあるという報告もあります。

こうした数値も参考にし、かかりつけの病院の先生に相談して意見を伺うのが良いでしょう。最終的には個人の判断になります。

常磐線の被災・復旧現場を調査

レポート 国労フクシマ交流会「激励・視察」行動

東日本大震災から3年半。昨年7月にも同様の企画があり、いわきから富岡方面に向かって原発事故後の相双地区を視察。被災から放置されたままの建物、船舶、車、人気のない富岡駅前等を目の当たりにした。

今年には仙台から原町・小高方面に向かって視察し、常磐線の「いわき保技セ原ノ町派出」の仲間を激励訪問する企画だ。

参加者は、本部菊地書記長、佐伯書記、東日本佐藤書記長、仙台地本大沼委員長、原子書記長、宮城県支部山田書記長、福島県支部小松山執行委員、水戸地本赤沼書記長、出羽地本執行委員、県支部坂本委員長、猪狩書記長、原町派出の8名の仲間。

JR常磐線の現状
現在、福島第一原発から



20km圏内でも避難解除準備区域として住民帰還を促進するために列車運行が再開されている。南方面では竜田駅まで乗り入れがされ、北方面では仙台・浜吉田間と相馬・原ノ町間が往復運転。津波被害が大きかった

浜吉田・相馬間は山側に新ルート建設工事が進められ、17年春に運転再開と報道された。なお、並行する常磐道も来年GWまでに全線開通させることを安倍首相が表明。国道6号線は現在では立ち入り禁止だが、自己責任で通行を認める方向と報告された(9月15日解除)。

現地視察一日目
浜吉田駅に到着。ホームの先には新設された止り止め、その先は夏草が繁茂して線路が見えない状況。6号線を南下する途中、標識に津波冠水地点の表示

があった。津波が真っすぐ到達したであろう地形。海側に向かっては建物が見えず、稲作もされずにただ草原が広がっている光景が広がる。坂元駅に到着し、ホームに上ると新設された防潮堤の隙間から海がすぐ近くに見える。

回り一面、草が生い茂っているだけで何もなくなっている。さらに南下し、新線の建設現場で盛んに工事車両が行きかう「新」新地駅周辺で写真撮影。津波到達地点のため高架化している。

新地火力発電所を過ぎるとガレキ処理施設が見えてきた。13年に着工され、避難区域内のガレキを焼却処理してきた施設の構内を見せよう。

施設の入り口に表示していた放射能測定値は0.09μSv。旧相馬港や相馬駅を回り、原ノ町派出の職場に向かう。この職場は、相馬・原ノ町間運行が開始されてから業務が再開された。それ以前は避難指示がされてから列車も運休になり、職場をいわき保技セに戻される人、仙台保技セに配転され仙台で仕事をした人と別れた時

期があった。

夜には原ノ町駅前のホテルで交流会が開催され、この間の苦労話を聞かせて頂いた。原発事故によって人生を翻弄され、今なお苦しめられている実態を聞くにつけ、改めて原発事故の恐ろしさと脱原発を早期に実現することが必要と感じさせられた。

現地視察二日目
二日目はさらに国道6号を南下し続け、小高を過ぎて浪江に入る。

既に20km圏内に入っており、国道の封鎖地点が見えてきた。右折して浪江駅に到着。ここも昨年の富岡駅と同様に人の気配がなく、駅前周辺の建物も崩壊した傾いたまま手付かずの状態。

駅周辺の線量は0.6μSv程度だが、踏切近くの草むらは4.68μSv。踏切上や北側の道路上で約1μSv。少しの時間の計測で高い線量が見つかる。立入禁止の方面に向かえばさらに高くなっていくのだろう。

帰路、いわき太田駅、桃内駅、小高駅を回る。駅舎、線路上は3年が経過した中で、雑草が繁茂しルールも良く見えない状態。こうした中、避難解除準備区域(年間20mSv)原ノ町から小高までの運行再開も組上に上がっていると聞いた。

感想として
昨年、富岡に向かう国道で目に付いた大量の除染後の黒いコンパックが今回はほとんど見当たらず、ガレキ処理や除染も進んでいるのだろう。一方で、崩壊してそのままの家屋や真新しい家屋が混在する街並み、そこには人の気配がみられない沈黙の街並み。ガレキが片付き、街の復興を望んでもそれを阻んでいる放射能汚染の実態を掴むことが出来た。

で目には付いた大量の除染後の黒いコンパックが今回はほとんど見当たらず、ガレキ処理や除染も進んでいるのだろう。一方で、崩壊してそのままの家屋や真新しい家屋が混在する街並み、そこには人の気配がみられない沈黙の街並み。ガレキが片付き、街の復興を望んでもそれを阻んでいる放射能汚染の実態を掴むことが出来た。

原発事故のため今なお13万人の方が避難生活を強いられているという。家族がバラバラにされ、先行きが見えない生活の苦しみを実際に聞き、改めて脱原発とフクシマの現状を発信し続けることが必要と感じた二日間だった。

報告者【国労福島県支部小松山聡さん】
※山田芳夫さんの報告は次号に掲載予定です。

仲間の異動

出向

6月1日付

- 山田 芳夫さん
- 岩沼 芳夫さん
- TSS巨理駅
- 荒 昭美さん
- 巨理駅
- TSS巨理駅
- 荒 康宏さん
- 巨理駅
- TSS巨理駅

退職のお知らせ

6月30日付

- 我妻 美津男さん
- 仙台電車区
- (テクノ仙台東)

- 伊藤 英雄さん
- 仙石線駅連合
- (TSS苦竹駅)

- 小野寺 茂隆さん
- 仙宮運輸区

- 佐藤 康司さん
- 岩沼駅連合
- (TSS槻木駅)

- 佐々木 精之介さん
- 小牛田運輸区
- (テクノ仙台東)

- 鈴木 浩次さん
- 仙台駅連合
- (TSS鹿島台駅)

- 鈴木 克志さん
- 新庄連合

- 高橋 実さん
- 福島地区

- エルダー・嘱託退職
- 江刺家 逸郎さん
- 仙総組立
- (ロジスティクス)

- 高橋 勝志さん
- 岩沼駅連合
- (ロジスティクス)

- 柴田 論さん
- 仙台駅連合
- (BT仙台)

- 横山 幸子さん
- 郡山駅連合
- (ビジネスえきネット)

7月31日付

- 横山 進一さん
- 仙台駅連合

- エルダー・嘱託退職
- 佐藤 勇一さん
- 仙宮運輸区
- (ロジスティクス)

- 高橋 正文さん
- 小牛田駅連合
- (ロジスティクス)

- 人見 文夫さん
- 貨物福島
- (郡山総鉄)

- 齋藤 博さん
- 福島地区
- (仙建福島)

- 8月31日付
- 長谷川 賢一さん
- 仙総車体
- (TKK幹総)

- 伊藤 武志さん
- 東北工事事務所
- (JRコンサルタンツ)

- 原 敏教さん
- 仙総車体
- (TKK幹総)

- 遠山 政孝さん
- 仙総組立
- (TKK幹総)

- 上田 英二さん
- 仙宮運輸区
- (Jテック幹総)

- 折笠 浩二さん
- 郡山駅連合
- (Jテック郡山)

長い間お疲れ様でした